



# ハンドボール

ぎふ清流国体ハンドボール競技

## 結果報告

No. 79

大会名	第67回 国民体育大会 ハンドボール競技				
競技日	10月6日(土)	試合記号	D⑫	回戦	準々決勝
種別	成年男子	会場	飛騨市桜ヶ丘体育館		
A(都道府県名)			B(都道府県名)		
茨城県			広島県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
19	9	前半	21	35	
	10	後半	14		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

### 【戦評】

記載者氏名

鷲見浩章

速攻の勢いで岩手県を下した茨城県と、日本リーグで活躍する湧永製薬の選手で固めた広島県が対戦。  
 試合は広島5番今井のポストシュートで始まり、高さでパワーを生かしながら広島県が優位に試合を展開する。それに対し、茨城県はスピードで対抗。ディフェンスから速攻を仕掛け、シュートを狙う。広島県が茨城県のスピードに対応し始めると流れは広島県に。5番今井のポストシュートと4番樋口の7mスロー、ロングシュートで得点し茨城県を突き放す。一方の茨城県も、10番坂野の速攻や5番横田の意表をつくステップシュートで反撃するが、広島県の流れは変わらない。広島県は4番樋口を中心に攻撃を組み立て、茨城県を大きく突き放し、9対21で前半を折り返した。  
 後半に入っても、広島県は攻撃の手を緩めない。開始直後、10番佐藤の2連続得点で流れをものにし、さらにリードを広げていく。15分過ぎ、茨城県はダブルポストで攻撃を展開し、4番会田のカットインで、固い広島県のディフェンスに風穴を開け、流れを引き寄せさせる。しかし、その後は一進一退の攻防が続き、茨城県は点差をなかなか縮めることができない。  
 後半10対14と茨城県は善戦したものの、19対35で広島県が勝利し準決勝に進出を決めた。